

京都教区時報

第200号

田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



疏水と私たち

—正平協・疏水見学に参加して

西野 猛生

幼いころの思い出、
 水路閣と鴨川沿いに流れる疏水。
 舟が上り下りするインクライン。

平井正治さんの案内で目を覚ました。

知らなかつたこと、

京都はかつて水が足りなかつたという。
 多くの犠牲のもとに水不足は解消された。

数々の井戸のある寺という意味の三井寺、
 その地下トンネルの出水と落盤。
 多くの人々のいのちが刻まれた流れ。

近代化推進は人海戦術、
 神楽算によるズリと湧き水のくみ出し。
 牛馬による土砂の運搬。

名前も記されず忘れられた人々、

囚人、韓国朝鮮人、

被差別部落の人々の呻き。
 こうして疏水は今も流れ続けている。

今、琵琶湖は悲鳴をあげている、

源流の開発の結果。
 そして疏水も悲鳴をあげている。

疏水と私たち

西野猛生

「琵琶湖疏水」という言葉を聞きますと、南禅寺の境内に周囲のたたずまいにとけ込んでそびえる「水路閣」を思い出します。また子どものころ、蹴上のインクラインが珍しくて、レールの上を上り下りする三十石舟眺めていたことを思い起こします。

今年の九月二日(金)から四日(土)にかけて、正義と平和協議会・京都大会が開かれますが、その下見として、四月十七日(日)に語り部の平井正治さんに疏水を案内してもらいました。その日までの私は、平安神宮の回りの疏水とともに、一つの風景としてしかとらえていませんでした。

ところが平井さんの説明を聞くことによって、この疏水が非常な難工事の末に完成したということを知りました。よく考えてみれば、

百年も前のことですから、現在のように機械力に頼ることはできませんので当然のことですが、それに気付いていなかったのです。

地下水の豊富なことから三井寺という別名が付けられたそうです。

から、その下のトンネル工事は、特に出水で大変だったようです。

一般的にトンネルを掘る時は、山の両側から掘り進めていくのですが、少しでも工期を縮めるために、山の中腹に直径五・五メートル、深さ五十メートルの堅坑(たてこ

う)をハンマーつるはし、シャベルなどを使って掘り、そこから両横にトンネルを掘り進めていつたそうです。トンネルの大きさは、三十石舟(幅一・八メートル)がすれちがえるようになります。

工事を始めたころは、揚水ポンプがなく、神楽算(かぐらさん)という大きなろくろのような巻き上げ機を手動で操作し、湧き出した地下水やズリ(掘った土)を堅坑を通して地表まで引き上げていたそうです。

また荷車で土砂を運搬するので

長年京都に住んでいて、水道の栓をひねると水がいつでも豊富に出てくるのを当たり前のように考

疏水の歴史を知る

今年の九月二日(金)から四日

(土)にかけて、正義と平和協議

会・京都大会が開かれますが、そ

の下見として、四月十七日(日)

に語り部の平井正治さんに疏水を

案内してもらいました。その日ま

での私は、平安神宮の回りの疏水

とともに、一つの風景としてしか

とらえていませんでした。

ところが平井さんの説明を聞く

ことによって、この疏水が非常な

難工事の末に完成したということ

を知りました。よく考えてみれば、

を掘つて轍(わだち)を作り、滑り止めとした(それを「車石」という)話も聞くことができました。現在も九条山と日ノ岡の間の車道脇に、その「車石」が石垣の中に埋め込まれて保存されています。人の力や牛馬の力だけを頼りに掘削していくので、現在と比べられないぐらい危険を伴っています。人命尊重の考え方も希薄でした。特に社会の底辺にある人々がその犠牲になっています。

人海戦術という言い方がありますが、どれほど多くの人々が犠牲になっているかは、定かではありません。実際、犠牲者の石碑にも、肩書のある人の名前は刻まれていません。実際、犠牲者の石碑にも、名前は刻まれていません。

いのちの流れ

京都の近代化に向けての歩みの中で、近くの刑務所の囚人や韓国人

朝鮮人や被差別部落の人々の犠牲

によって、京都の水不足は解消されたのです。実際、多くの人々の

いのちが刻まれた流れ、それが琵琶湖疏水なのです。

ご参加ください

正義と平和協議会・京都大会では、九月二日(金)に、「疏水見学」の他に「奈良県の洞村訪問」や「京都ウォッチング」を計画しており、またオブショーンとして大会終了後、「三重県の芦浜原発予定地見学」ツアーリーを予定しています。翌三日(土)には、分かち合いを通して、福音の視点からこれらの事柄を見直していきます。

京都教区の多くの方が、この大会に参加して下さることを願っています。

*
〔部落問題委員会ニュース7月号の記事を短縮して転載します〕

えていましたが、多くのいのちと引き換えに豊かな水を供給してもらっていることに初めて気付きました。赤潮やアオコなどの発生しない美しい琵琶湖に戻し、また日常の雑排水に気を付けて、おいしい水を京都や京阪神の人々に供給することは、疏水工事で犠牲になつた人々への念いとして、当然私たちが取り組まねばならないことだと考えさせられました。

第2回福音宣教推進全国会議

NICE-2・報告とこれから

●家庭と宣教

日本司教団は、長崎会議の答申にこたえて「家庭と宣教」というメッセージを出しました。各教会に冊子が送られていますのでぜひお読み下さい。内容は下に図解してあります。

●NICE-II公式記録集

中央協議会から長崎会議での議事録、資料などをくわしくまとめた公式記録集が出ます。予価100円。各小教区に送られる他に余分がありますので、ご希望の方は福音センター(075-822-7123)、柳本までお問い合わせ下さい。

●NICE-II代表者会解散

5月12日をもって、京都教区のNICE-II代表者会を解散し、11名の代表者はその任を終えました。至らなかつた私たちを支えて下さりありがとうございました。

●京都教区向けチラシ

第2回NICE最後の教区向けのクリーム色のチラシをお配りしています。NICE理解のためにぜひご利用下さい。

(柳本昭記)

1. 家庭の現実から

社会の重圧の中で家庭は救いを求めています。また一方で人権への配慮など福音の芽生えもあります。救いを求めている家庭の現実からの叫びに答えることが教会の使命です。



2. 愛の共同体である家庭

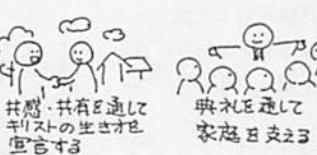
家庭の使命を生きるために神に愛されていることを知る。



あるべき姿
刷新された
共同体



3. 家庭を支える教会



家庭の4つの使命

土台=分かち合い

4. 分かち合いを通して

「分かち合い」は貧しい人々、苦しんでいる人々とともに苦しみ、自分の受けたたまものを分かち合うこと。

「分かち合い」はキリストのような深い共感と共有が大切。

私たちはともに重荷を負いながら「現実を見分けて生きる信頼者」として成長する。

第五回ウォーカソン・三重

ペルー・リマの子供たちのために募金

昨年に引き続き、家族を失つて、苦しんでいるペルーのリマの子供たちのために、ウォーカソンによる募金活動が四月二十九日、三重県松坂市で行われました。

三重ブロックでは毎年このウォーカソンを「平和への歩み」運動の一つと位置付けています。主催は三重県カトリック信徒連絡協議会で実行委員会は福音宣教三重の集いと松坂教会で、今年で五回目です。午前十時より開会式、ここで松坂教会主任司祭マキロップ神父より祈りと祝別を受け、聖書朗読と祈りがあり、ペルーの子供たちの事をスライドで学習した後、聖歌「インマヌエル」を歌い開会式を終えました。

三重県下の九教会が参加、総勢百二十六人は横断幕や各教会で作成したプラカードを掲げて午前十時半松坂教会を出発しました。小さい子供たちから八十近い老人まで、そして滞日外国人まであたかも一つの大家族のような一行は、祝日にぎわう町中から松坂市の中部台運動公園まで歩きました。この日は快晴でしたが湿度が高く



C B S 宗教トレーニングに参加して

第14回 C B S 京都教区宗教トレ

ーニングキャンプが、3月19～21

日の2泊3日、奈良市青少年野外

セントラで行われました。

梅、桃が色どりと香りを添え、

鶯の鳴声が聞こえる静かな山里に、

滋賀、京都、奈良の中高生44名が

参加しました。

バルデス師、ウイツクス師、東

門師、大塚師のご指導のもと、本

部スタッフと指導者27名と共に、

聖書の中の「一粒の麦」がその精

神とスカウト精神に通じるものには

何か、平素口にしている「ちかい」

「おきて」が自分たちの日常生活

にどのようにかかわっているかを

話し合いました。そしてお互に

共感しあい、わからないところを

神父様に質問したりして、スカウ

ト達には宗教について一步近づい

て理解する機会となりました。

又、ノートルダム修道会のシス

ター・エヴァンジエラには、ネバ-

ルでの教育活動に当られた体験談

(ビデオ映写)を聞かせて頂きました。

なお、昨年十一月三日のウォーカソンは七千八百ドルをペルーの子供たちのために働いているペル

ー在住のベルナルド・P・バーン

神父(メリノール宣教会)に送金

G S 奈良1団 松本敏子
した。豊かな日本のスカウト達に
とっては、国境を越えた友愛心を
抱いたことでしょう。

2日目の日曜日に行われたミサ

では、スカウトとして最高の榮誉

でもある宗教章の授与もありまし

た。野外料理やハイキングを通し

て友情を深め、キャンプファイヤーでは全員がひとつになつて歌い

踊り、楽しいひとときを過ごしま

した。

閉会式が終わり、指導者とスカ

ウトがお互いに握手をし、再会を

約束、解散となりましたが、心の

中に充実感があつたことは一人一

人の表情にあらわれていたよう

でした。

お忙しい中をスカウト達のため

に遠方までお越し頂きミサを捧げ

て下さったり、わかり易くお話を

さつた神父様方、シスターに心か

ら御礼申し上げます。この期間中、

内側から支えて下さった運営・生

活面での奉仕スタッフの方々のご

協力を感謝いたします。

広島体験学習のご案内

みなさんこんちには。今年も8月6日が近づいてきました。恒例となりましたが、今年も、中学生を対象に広島体験学習を行います。

戦争が終わり49年目、来年にはちょうど50年目となります。「戦争を知らない子供達」といわれていますが、もはや「戦争を知らない子供達」も多くなり、戦争というものと全くの無縁の生活を送っています。唯一の接点と思われる報道関係でさえ、その悲惨さを正確に伝えているものは全くといって良い程ないような状況です。

先日、私の通っている大学の日本史担当の先生が、日清戦争を中心に戦争の話をして、その感想を

学生に書かせたところ、「戦争の話は好きなので」「戦争の話はおもしろい」など、少数あつたそうです。これらを書いた人全員とはいえないが認識できていないので

ないでしょうか。

私自身、戦争といふもののがどのようなものか、本当

の姿は知りません。実際に戦時中の話をうががつても「言葉に表せない」ということをよく言われます。そ

んな言葉で表せないような悲しい生活をしたくはありません。みなさんも、自分の子供達にそのような生活をさせたくないという考えは同じだと思います。

そのような時代にしないために私達が今、またこれから何をするべきなのか、これを知るためにこの体験学習を行うのです。戦争のことを知る場はなかなかないものです。思春期という非常に大切な機会に触れることが、仲間と一緒に戦争のことを話し合うことは普段の生活では決して得ることのできない、大変貴重な体験になるはずです。夏休みの大切な時期ですが、多くの中学生が参加して頂けることを期待しています。(M・K)

○日程 8月4日～7日
○費用 13000円
○問い合わせ先 桂教会 北村師
小泉 誠(亀岡教会)
Tel 0771-2410884
4444

(((((お)))))) あんてな

■西院カトリック会館行事

問合せ 福音センター

075-822-7123

▽柳本神父の雑学講座 5日10時半～12時 「祇園祭」第2弾 料費5百円

▽正義と平和協議会全国大会実行委員会 2日14時～18時

▽京都南部信徒協議会婦人部 7日、14日10時～16時 3日13時半～15時

▽カナの会結婚相談室開設 3日13時半～15時

▽京都南西部信徒協議会 9日18時

▽京都信託金会 8日 西陣教会

▽子羊会例会 24日 28日

▽糠みその会 28日 九条教会

▽聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会京都中央理事会 第4日曜日

▽宇治教長崎五島列島巡礼の旅 28日～31日 11万5千円

▽聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会京都中央理事会 第4日曜日

▽キリスト研究会 24日15時

結婚式をなさる方 一人5千円

式を希望する各教会へ申込

▽Srアスンタの書道教室 毎週金曜日14時～16時 月謝2千円

▽カトリック聴覚障害者の会手話教室 毎週火曜日10時半～12時半

▽カトリック聴覚障害者の会手話教室 每週木曜日19時半～21時

▽カトリック聴覚障害者の会手話教室 毎週火曜日10時半～12時半

▽カトリック聴覚障害者の会手話教室 每週木曜日19時半～21時

教区スケジュール

7月

- 1～3日信徒使徒職養成コース・基礎コース（野外礼拝セントラル）
 3日(木)特別聖体奉仕者学習会
 〔野外礼拝セントラル〕
 ▽衣笠墓地管理委員会
 5日(火)国際永久平和記念祭典
 (大阪中之島)
 7日(木)司祭評議会(河原町会館)
 10日(日)堅信式(伏見教会)
 17日(木)京都北信協大会(宮津)
 18日(金)カトリック全国保育連盟
 大会(京都)
 21日(木)司教顧問会(河原町会館)
 ▽京都南部及び教区司祭月
 例会(河原町会館)
 24日(日)八幡教会四十周年

お知らせ

＊銀祝おめでとうございます

- ノートルダム教育修道女会
 Sr テレーズ・マリー早川
 Sr ドロシー・澤崎
 Sr メリー・ルイーズ安井
 Sr クリスチヤン・マリー・エアハルト

部落問題委員会学習会

住み慣れた地を追われて行く人々。独自の文化も保てず苦しむ人々。かつては「ジブシー」と呼ばれ軽蔑されてきたロマニの人々。ロマニの問題、歴史と特徴を学びます。

日時・7月16日(土)19時
 場所・河原町カトリック会館6階

講師・ヘスス・ア・ガレロン
 問い合せ・部落問題委員会

075-233-2291

日時・7月16日(土)19時
 場所・野田川町ユースセンター

申込締切・8月10日
 福音センターまで

075-822-7123

日時・8月26日(金)～28日(日)
 場所・野田川町ユースセンター

及び加悦教会 費用・千七百円
 申込締切・8月10日

福音センターまで

075-233-2291

＊奈良正義と平和協議会学習会

日時・7月17日14時～16時
 場所・野外礼拝セントラル
 テーマ・女性差別について
 講師・Sr 鎌田

＊カトリックボランティア 奈良連絡会学習会

「家庭婦人の余暇と社会参加」
 7月14日19時半～21時 奈良教
 会 講師・広岡洋子さん

○平和への歩み実行委員会より
 7月14日19時半～21時 奈良教
 会 講師・広岡洋子さん

8月7日 各小教区で

▽奈良地区
 柳本師の講演

「私たちにできる平和づくり」

△京都南部地区
 8月7日15時～国際平和ミサ
 (河原町教会) 17時～平和行進

＊信徒使徒職養成コースの案内

第98回基礎コース(京都北部)
 及び加悦教会 費用・千七百円
 申込締切・8月10日

福音センターまで

075-822-7123

▼編集部よりお知らせとお詫び
 先月号より、長い間お世話頂いていた「からふね屋」から「燈影舎」に印刷所を変更致しました。この機会に、環境破壊を少しでもやわらげるために、今まで使っていた純パルプ百分の紙で使っていた純パルプ百分の紙から古紙も入った中質紙を使うことに致しました。皆様方のご理解のほどよろしくお願ひ致します。

先月号の8頁の聖ヨゼフ葬典社の広告で杉下安雄さんの名前が間違っていましたのでここにお詫び申し上げます。

始めましたのが10年前位になります。

＊「一万匹の蠍運動」基金報告

累計	5,868,747円
加入者	699名

(5月17日現在)

あなたの良き隣人として
 カトリック御葬儀
 貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
 (西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
 (075)312-7829

＊西舞鶴教会バザー

日時・7月30日午後18時～21時
 舞鶴では夏の暑い期間、土曜日夜「夜の市」というのがあります。夕涼みがてら、町へ出て行きます。町へ出てこられたお客様に、教会のバザーにも来て頂こうというので夜にバザーを